

## 《庭 木》

|    | 植物名等       | 分類 | 内容による分類  | 内容   | 回答   |
|----|------------|----|----------|--|--|
| 1  | アザレア       | 庭木 | 育て方      | 刈り込みの時期はいつか。又、葉が白くなっているのはどうしてか。  | 花が終わったら刈り込んで、大きさや形を整える。葉が白くなったのは、乾きかグンバイムシのせいと思われる。薬剤散布が必要。  |
| 2  | アジサイ       | 庭木 | 剪定       | 花がほぼ終り、剪定したいがどのように切ったら良いか。   | 1. 花冠のついた枝を上から下へ順次見ていくと、葉(対生)の付け根に小さな新芽が目につく。そこを切るのが良い。他の枝も同様に。<br>2. 剪定の時期が大切で、6~7月に行う。8~12月に剪定すると、折角できた花芽がなくなり、来年の開花が望めなくなる。   |
| 3  | アジサイ       | 庭木 | 診断       | 花が咲かない。どうしてか。  | 1. 剪定の時期が悪い。<br>2. 6~7月、脇芽を確認して切る。その後は一斉に枝先を切ってはいけない。<br>3. 秋から年末にかけて乱れた枝を切りたくなったら、間引き剪定を行なう。  |
| 4  | アジサイ       | 庭木 | 植え方      | 鉢植えの植替えはいつ頃か。  | 1. 葉が落ちている間ならいつでも良い。<br>2. 10~11月か2~3月が良い。   |
| 5  | アジサイ       | 庭木 | 診断       | 赤花を購入したが赤くならない   | 土質をアルカリ性に近づけないと、花の色が出ない。苦土石灰を使用して植え付けると良い。   |
| 6  | アジサイ       | 庭木 | 病虫害(防除)  | 白い飛ぶ虫がつく。  | アオバハゴロモと思われる。害はあまりないが、スミチオンで防除する。  |
| 7  | アジサイ       | 庭木 | 増やし方     | 挿木の時期はいつ頃が良いか。   | 6月末~7月上旬頃にすれば良い。土は鹿沼土か赤玉土の混合でよい。   |
| 8  | アスナロ       | 庭木 | 診断       | 幹の中間に巾40cm位の空洞が見える。これは病気か。又枯れる心配はないのか。   | 樹齢25年位なら、その位の空洞では枯れない。病気でもない。但し台風など強風が吹いて折れることは考えられる。  |
| 9  | アッサムニオイザクラ | 庭木 | 育て方・増やし方 | 白い香りの良いサクラ様の花が咲いた後鉢植え(5号位)して、葉も伸びてきた。全体で高さ30cm位、ビワ様の葉が大きく横にも広がってきたので切りたい。又挿し木が出来ると言うが。 | 1. 入手して1度鉢植えし、高さ30cm位では、2~3年はそのままで良い。植え替えは年1回落葉期。<br>2. 剪定は大きくなりすぎた時や樹形が乱れた時に行う。全体の大きさから見てまだその時期ではない。行なう時は間引き剪定が良い。<br>3. 挿し木は、6月にその年に伸びた枝を葉2枚をつけ、長さ15cm位に切り、葉は大きいので2/3位に切る。用土は赤玉又は鹿沼土 |
| 10 | イトヒバ       | 庭木 | 剪定       | 植えて30年の木で昨年5月に剪定したが、今はボサボサで枯枝が増えている。   | 毎年春に整枝するのが普通。まず枯枝を切っておき、春になってから整枝するしかないと思われる。  |

|    |         |    |         |   |  |
|----|---------|----|---------|---|--|
| 11 | ウツギ     | 庭木 | 剪定      | 花が咲かないが、どのように剪定したら良いか。(鉢植え)                     | 花が咲いていないのは、前年の枝切りの時期が悪かったのと、かなり枝が込み過ぎているのが原因と思われる。   |
| 12 | ウツギ     | 庭木 | 植え方     | 鉢植えを地植えにしたい。                                    | 植え方は鉢から抜き、植え穴にそのまま植える。植え穴には腐葉土を2~3つかみ位入れて、土とよく混ぜその中に植える。根鉢を崩して植えるのは鉢で3~5年も経っていて落葉期に植える場合。緑葉がついている頃は根鉢のまま植えるのが良い。   |
| 13 | エニシダ    | 庭木 | 剪定      | 今期は、花が全然咲かなかったが、どうしてか？(鉢植え)                     | 前年の枝切りの時期が遅かったことと、枝が込み過ぎているので、花がつかなかったものと思われる。   |
| 14 | エノキ     | 庭木 | 病虫害(防除) | エノキの表皮が盛り上がっている。病気か。                            | 虫(アブラムシやダニ)の吸汁によって表皮が異常になった状態のもので、害虫防除が必要。   |
| 15 | オウバイ    | 庭木 | 剪定      | 5年になるが、枝が垂れ下がって、花数が少ない。どうしてか。                   | 剪定と整枝の時期が間違っていたのではないか。また、肥料をやり過ぎたようにも思われる。5月頃に整枝をして、徒長枝を元から切る程度で良い。  |
| 16 | オオデマリ   | 庭木 | 病虫害(防除) | てんとう虫の幼虫らしいものが、葉を透かしてしまうが、防除法を知りたい。             | 農薬散布で駆除する。スミチオンかオルトラン水和剤。  |
| 17 | カイドウ    | 庭木 | 診断      | 花が咲かないのはなぜか(鉢植え・5年くらい)                          | 全然植替えをしていないということで、根詰と肥料不足と考えられる。   |
| 18 | カイドウ    | 庭木 | 病虫害(防除) | 花が咲き終わった後、枝にあづき色の小さな玉がついているが防除法はあるか。            | カイガラムシがついたもので、防除方法は冬期にマシン油乳剤の散布か、ブラシでこすり落とす方法が確実。殺虫剤を使うならばカルホス(劇薬)かスミチオンの散布を数回散布してもよいと思われる。  |
| 19 | カエデ     | 庭木 | 育て方     | 鉢植えのカエデとモミジが2mにもなった。1本ずつに植え替えたい。                | 落葉したらまず整枝と剪定をする。来春になってから1本ずつにした方が良い。   |
| 20 | カナメモチ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉まで点々と斑点がついて落葉する。(垣根)スミチオン乳剤を散布したが、まだ葉を閉じる虫がいる。 | 1. 樹種はレッドロビン。日本のベニカナメモチに比べれば病気に弱い。<br>2. 病気はごま色斑点病。<br>3. 防除は、丈夫に育てること。日当たり良く、風通し良く、肥料をやり過ぎない。それでも発病した時は、殺菌剤を若葉の頃に散布する。<br>4. 葉を閉じるのはハマキムシ。年5回も発生するので、葉のつづりを発見したら、殺虫剤を散布。大量発生の場合以外は捕殺すること。 |
| 21 | カナメモチ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 生垣に黒い斑点ができた。防除法を知りたい。                           | ごま色斑点病。肥料IB化成や鶏糞堆肥などを施し、木の生育をよくする。防除はトップジンM、ダコニール、ダイセンなどで行う。月3回位行う。(時期は4~9月)   |
| 22 | キャラボク   | 庭木 | 剪定      | 刈り込み時期はいつか                                      | キャラは、7月初旬に1回刈れば、それでよい。   |
| 23 | キョウチクトウ | 庭木 | 診断      | 庭植えのものが3m位になっており、今年は花が咲かない。どうしてか。               | 1. 剪定の時期が問題となる。10~3月頃に剪定して、それ以外は切らずにおけば咲く。<br>2. 大きくしたくないなら、思い切って根元から切りつめると、次の年は咲かないが、2年目からは咲き出す。そして一定の高さになったら、また切りつめる。<br>3. 邪魔になるなら大きい枝のみ間引き、剪定とすれば良い。                                   |

|    |          |    |         |   |   |
|----|----------|----|---------|---|---|
| 24 | キンモクセイ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 1. 葉を閉じる虫がいる<br>2. 剪定したいがいつが良いか。                  | 1. 葉を閉じるのはハマキムシ。少なければ手で潰す。多ければスミチオン乳剤1000倍液を散布。<br>2. 庭木の剪定は6月と10月。花の咲くものは、10月の剪定は軽く徒長枝を除くのみ。   |
| 25 | キンモクセイ   | 庭木 | 診断      | 昨年苗を植えたが、花が咲かない。                                  | 苗を植えてから3~5年は花は咲かない。新しい土地に充分根を張り、成長することに勢力を注ぐため。成長が一段落してから、花が咲き出す。   |
| 26 | ギンモクセイ   | 庭木 | 剪定      | 剪定を今(3月頃)しても良いか。枝が伸び大きくなりすぎるので切りたい。               | 剪定は花後(11月頃)行う。枝抜きもして浅く刈込む。今は徒長枝、込み合っている枝抜きは行っても大丈夫。   |
| 27 | クヌギ      | 庭木 | 診断      | クヌギの葉にコブが出来て葉の表裏ともに膨らんでいる。何かの病気なのか。               | 1. 虫えいと思われる。葉の組織内に産卵し、その卵の大きくなるのに伴ってコブも大きくなり、孵化すると葉の一部も枯れる。<br>2. 虫の種類(アサカワスジクロタマバチ・クヌギケシツボフシ・ナライガタマバチ・ナラリゴタマバチ)  |
| 28 | クヌギ      | 庭木 | 病虫害(防除) | 枝に綿状のこぶができています。病気か。                               | クヌギノイガクマバチの虫こぶかアブラムシの虫こぶと思われる。防除は7~8月、こぶのできた時点で取り去る。  |
| 29 | クロバナロウバイ | 庭木 | 育て方     | 育て方を知りたい。   | 日当たりの良い所で、排水の良い土が良い。植え付けから実生苗では5~10年、接木苗では4年位で開花する。   |
| 30 | クロマツ     | 庭木 | 利用法・特性  | マツの球果の成熟はいつ頃か。また、落ちるのはいつか。                        | 5月頃に開花し、翌年の10月頃に成熟する。落ちるのは年によって多少異なるが、11月以降。古葉は徐々に落ちていく。  |
| 31 | コメツツジ    | 庭木 | 診断      | 長年庭に植えてあるが大きにならない。どうしてか。                          | コメツツジは元々大きにならない木。肥料も余りやる必要はなく、元肥として冬期に1回施す程度が良い。  |
| 32 | ゴールドクレスト | 庭木 | 診断      | 鉢植えの大部分が枯れて、先の方に少し緑が残っているだけだが、どうすればよいか。又、挿木ができるか。 | 1. 夏の間の水のやり過ぎと思われる。ゴールドクレストは、枯れた枝を一度切っても再萌芽は難しい。先の方に緑が残っていれば、その上を伸ばすことになる。<br>2. 緑の部分を挿木して、再び仕立て直すことはできる。5~6号鉢に赤玉土(中~小粒)を入れ挿木して、ビニール袋をかぶせ、約1ヶ月位で根が出てくる。 |
| 33 | サカキ      | 庭木 | 診断      | 木の全体が黄色となり、葉が落ち始めたがどうしてか。                         | おそらく紫紋羽病に冒されたものと思われる。これは根につく病気なので、掘りあげて焼却する。掘上げたところへは、ベンレート水和剤を散布して、新しい土を入れておくとよい。  |
| 34 | サクラ      | 庭木 | 植え方     | どのように植えて育てればよいか。                                  | 植穴に堆肥を入れ、動かないよう支柱を立てる、うどんこ病がでるので、スプレー式の殺菌剤を散布する。  |
| 35 | サクラ      | 庭木 | 増やし方    | 芽つぎの方法  | 時期は8~9月、充実した枝の芽を取り、T字形に削ぎ、その中に芽を差し込んで縛る。  |
| 36 | サクラ      | 庭木 | 増やし方    | 桜の芽接の時期はいつか。                                      | 普通は6月~7月です。   |
| 37 | サクラ      | 庭木 | 増やし方    | 株分けはいつ頃からできるか。                                    | 根を見て、ある程度新根があれば、4月末頃からできる。  |

|    |       |    |         |   |  |
|----|-------|----|---------|---|--|
| 38 | サザンカ  | 庭木 | 病虫害(防除) | チャドクガが発生して毎年困る。どのように対策したらよいか  | 気候によっても左右されるが、6月上旬頃と7月下旬頃の年2回発生する。成虫は蛾で3cm位、黄色、日中より夕方から活動する。産卵は1枚の葉裏に卵かいとして生みつける。孵化後、3令位までは1枚の葉に並んで付いているが、3令後半くらいから、樹木全体に広がる。こうなると防除も大変になる。3令位まで広がらないうちに発見することが大切である。産卵は2m以下のところにする。時期になったらよく見ること。 |
| 39 | サザンカ  | 庭木 | 剪定      | 枝を切りたいがいつがよいか   | 11月ごろがよい。  |
| 40 | サザンカ  | 庭木 | 病虫害(防除) | 2m位のサザンカにケムシが発生(葉を食っている)したが、駆除の方法はないか。                                  | 虫はチャドクガと思われるので、直ちに薬剤散布により駆除するより他に方法はない。(薬剤:カルホス(劇薬)かオルトランの水和剤)   |
| 41 | サザンカ  | 庭木 | 病虫害(防除) | チャドクガが発生した。防除方法は。   | チャドクガは年2回発生するので、その時期に葉を観察し虫が小さいうちに切り落とすのが簡単でより効果的。   |
| 42 | サツキ   | 庭木 | 診断      | さつきの葉が黄色になってきた。   | 原因は、害虫(ダニ・ゲンバイムシ)か、乾燥させたかが考えられる。害虫対策には、殺虫剤を月に2回位散布する。乾燥には水をかけてやる。  |
| 43 | サツキ   | 庭木 | 剪定      | 垣根に植えている。昨年剪定したら、今年花が咲かなかった。剪定はいつがよいか。                                  | 1. 梅雨明けまでが剪定の適期(梅雨明けまで)<br>2. 夏の間は、徒長枝を切る位。10~11月に軽く手直しする位とする。   |
| 44 | サツキ   | 庭木 | 育て方     | 植えて5~6年になるが、根元の土は流れ、樹勢もよくない。雑草もからまっている。植え直したいがいつ頃が良いか。                  | 植えなおしは3月が良い。根元の土が流れ、土も硬く根が弱っている。堀上げた跡に腐葉土を入れて混ぜ、植えなおす。掘り上げた株根をバラバラにして雑草を取り除くと良い。   |
| 45 | サツキ   | 庭木 | 診断      | 開花後新芽が伸びてきたが段々葉が落ちてしまい最後には枝が枯れてしまう。虫か病気か。                               | 枝が枯れるのは根が腐っているから。水の遣りすぎと思われる。用土も考えること。   |
| 46 | サルスベリ | 庭木 | 病虫害(防除) | 1. 葉を閉じる虫がいる<br>2. 剪定したいがいつが良いか   | 1. 葉を閉じるのはハマキムシ。少なければ手で潰す。多ければスミチオン乳剤1000倍液を散布。<br>2. 庭木の剪定は6月と10月。花の咲くものは、10月の剪定は軽く徒長枝を除くのみ。  |
| 47 | サルスベリ | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉が黄色になりどんどん落葉しているがどうしてか。  | うどんこ病が発生したものと思われる。従って落葉を片付け、予防薬(ミネラシン水溶剤)などを散布した方がよい。  |
| 48 | サルスベリ | 庭木 | 病虫害(防除) | 花が咲かない。葉が黒くなってきた。カミキリムシにより穴があいた。処置した方がよいか。                              | 葉が黒くなるのはカイガラムシによるすす病。マシン油乳剤を冬に散布して防除する。肥料を施し剪定して、花を咲かせる。木にあいた穴は園芸店でつめるものを購入するとよい。  |
| 49 | サルスベリ | 庭木 | 病虫害(防除) | 20年位経つ。幹(地上60cm位)に裂け目が出来溝になっている。テッポウムシの被害か。どうしたらよいか。近年花が少なくなったが、関係あるのか。 | テッポウムシの食跡から割れ目が広がったかもしれない。テッポウムシは5~7月位に樹体よりオガクズを出すので、その時に針金でつつくか、殺虫剤の注入を。サルスベリは樹体が空洞になっても枯れることはない。割れ目が腐っているなら、その部分を削り取り、保護剤(例えばトップジンペースト)を塗布する。花が少なくなるのは枝先が細くなったからで、樹全体の枝先を更新すれば花揃いも良くなる。          |

|    |         |    |         |  |  |
|----|---------|----|---------|--|--|
| 50 | シキミ     | 庭木 | 植え方     | 3年前に挿木したが庭に移植したい。今でもよいか。                             | 1. 今は新芽が伸びまだ硬化せずやわらかい。出来れば6月、曇天続きの頃がよい。<br>2. 今頃やりたければ、根の土をできるだけ落とさないようにして移し、毎日灌水し7～10日くらい日除けしてやればよい。  |
| 51 | シゲ      | 庭木 | 剪定      | 刈り込み時期はいつか   | シゲは、年2回くらい行う。1回目は新芽が固まり、その後6月までに刈り込み、後は10月頃に刈り込む。  |
| 52 | シコンノボタン | 庭木 | 育て方     | 鉢植えを玄関先に置いている。剪定はどのようにしたら良いか。地植えにしても良いか。             | 1. 剪定は花柄を除くのみ。枝が込んだら間引きも必要だが、3～5年はそのままで越冬後、春先に枯れた枝先を剪除する位。<br>2. 地植えは冬の寒さが問題で、日当たり良い南向きなら寒い冬がきても全部枯れることはない。<br>3. 植替えは10～11月か3月。   |
| 53 | シコンノボタン | 庭木 | 増やし方    | 剪定時期と方法。植替え、挿木の時期と方法。                                | 剪定は12～3月。新しく伸びた部分を切り落とす。植替えは4～5月。肥料は伸長のみを与え、8～9月乾燥気味に育てると蕾がよくつく。挿し木は6～7月。赤玉土に挿す。   |
| 54 | シコンノボタン | 庭木 | 育て方     | 花が咲き、種子ができています。いつ蒔いたらよいか。どのように育てたら良いか。               | 種子は5月頃まく。花柄を摘み、4～5月に鉢の植替えをする。冬は5℃以上に保ち、肥料は植替え時と秋に与える。  |
| 55 | シャクナゲ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 育ちが悪い  | 樹の周りを掘って、腐葉土又はピートモスに化成肥料を加えて与える。   |
| 56 | シャクナゲ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉が白くなっている。虫か病気か。                                     | ツツジゲンバウムシの被害。ダイジストン粒剤(劇物)・エカチン粒剤・オルトラン粒剤か、スミチオンなどの殺虫剤の散布。、スプレー剤の散布をする。年4回位発生する。  |
| 57 | シャクナゲ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 次々に庭木が枯れる。根に白い綿様のものがいっぱい付いていた。病気か。                   | 1. 白絹病と思われる。(紋羽病も似る) 土壌病害で菌は長い間土中にあり庭木を枯らす。菌は10年位土中に残る。<br>2. <防除方法>①ベンレート水和剤1000倍液を1本当り5ℓ位灌注する。②良質の腐葉土を投入し、良質な土壌微生物を増す。③枯れた木の根をできるだけ掘り取り焼却する。④4月頃にもう1度ベンレート水和剤を灌注する。<br>3. 土壌病害専用薬のバスアミド微粒剤(劇薬)が入手できたら、5月以降に使用。 |
| 58 | ジャスミン   | 庭木 | 植え方     | 根詰まりしているので、植え替えても良いか。                                | 赤玉土+腐葉土を20%位混合して植え替える。   |
| 59 | シュロ     | 庭木 | 診断      | 欲しい人がいたのでシュロの皮をとったが、幹が細く、色白。樹が倒れたり、冬の寒さにやられたり心配はないか。 | シュロは枯れたり倒れたりする心配はない。最近利用するひとが減ったが、昔は縄やミノ等に広く利用されてきた。   |
| 60 | シラカシ    | 庭木 | 病虫害(防除) | 白い粉状のものがつくが何か。                                       | うどんこ病と思われる。冬に石灰硫黄合剤を散布。6月頃殺菌剤を散布。風通しをよくするために枝抜きをする。  |

|    |         |    |         |  |   |
|----|---------|----|---------|--|---|
| 61 | シロヤマブキ  | 庭木 | 育て方     | シロヤマブキをプランターに植えている。花柄をとっているが、これからどんな手入れをしたらよいか。また株分けは？ | 1. 花後の手入れは特にはない。枝が伸びて邪魔になるなら、適当に切ってよい。但し、全面的に切り詰めないほうがよい。<br>2. 株分けは葉が落ちてからのほうがよい。<br>3. 肥料は春に少し施すくらいがよい。   |
| 62 | スモークツリー | 庭木 | 増やし方    | 花がいっぱい付いて咲いている。根元のほうから新芽が伸びているが、挿木ができるか。               | 挿木はできる。ただし、新芽が硬化した頃(6月)がよい。<br>樁のように葉が大きければ、葉を3分の2くらいに切るが、2枚くらいつけて挿すこと。   |
| 63 | センリョウ   | 庭木 | 診断      | 全然花がつかない。どうしてか。  | 原因は色々考えられるが、毎年そのままで伸び放題とのことなので、剪定しなかったためと思われる。  |
| 64 | センリョウ   | 庭木 | 育て方     | 生育は良いが地植え・鉢植えとも花が咲かない。どうしてか。                           | 地植えはもう少し日が当るようにした方がよい。また窒素肥料が多い。鉢植えは日によく当たっているがリン酸肥料が少ないのではないか。マグアンプKやリン、カリ肥料を与え、剪定はあまりしない方がよい。   |
| 65 | センリョウ   | 庭木 | 診断      | 他の庭木と一緒に植えていたものが次々に枯れた。病気か、土が悪いのか。                     | 1. 次々に枯れるのは根の病気。白絹病・紋羽病のどれかと思われる。20~30cmの深さの根を掘って調べてみる。<br>2. 決定的な防除は難しい。やり方は、①枯れた根をできる限り掘上げ焼却する。②その跡にベンレート水和剤1000倍液(又は、バスマミド微粒剤(劇薬))を灌注する。<br>③跡地は2~3年休んで、良質の腐葉土を投入し、良性の土壌微生物を増殖させる。 |
| 66 | センリョウ   | 庭木 | 診断      | 1m位に伸びたが、今年は全然花が咲かず、実もつかない。どうしてか。                      | 長いこと植替えず、株が大きくなり過ぎて丈夫な幹になっていないのが主たる原因のように思われる。今後は株分けと整枝が必要ではないか。  |
| 67 | センリョウ   | 庭木 | 育て方     | 種子をどのように蒔けば良いか。  | 種子の外側の皮と肉を採り、堅い実のみにして蒔く。そのまま3~5cm溝を掘り、覆土すれば7~8月頃には発芽する。中には2~3年たって発芽するものもある。実生から開花まで3~4年かかる。   |
| 68 | タケ      | 庭木 | 植え方     | 大鉢にモウソウダケを植えてくれと頼まれたが、今の時期でも良いか。                       | 1. 「竹は2・4・6・9・11月(ニシムクサムライ)」と言う諺があり、また県西地方では「木は6月竹は8月に切ると枯れ易い」とも言われる。参考書には春2~3月か8月とあるが、2月頃か10~11月が安心。<br>2. 山、庭などから掘上げるには、相当広め深めに掘って根を十分に確認してから切り進めた方がよい。                             |
| 69 | チャ      | 庭木 | 病虫害(防除) | ケムシの防除法について  | ツバキ科に発生、食害する。4~5月、8~9月の2回発生。スミチオン1000倍液などを散布して防除する。   |
| 70 | ヂンチョウゲ  | 庭木 | 剪定      | 大きな株になったので切り詰めたいがどうか。                                  | 1. 植えている環境にもよるが、葉が全部無くなるような切り方はしない方がよい。<br>2. 一枝ごと葉を一枚残すようにして剪定した方がよい。<br>3. 毎年行なうこと  |

|    |     |    |         |   |  |
|----|-----|----|---------|---|--|
| 71 | ツゲ  | 庭木 | 病虫害(防除) | 1. 葉を閉じる虫がいる<br>2. 剪定したいがいつが良いか。                        | 1. 葉を閉じるのはハマキムシ。少なければ手で潰す。多ければスミチオン乳剤1000倍液を散布。<br>2. 庭木の剪定は6月と10月。花の咲くものは、10月の剪定は軽く徒長枝を除くのみ。                  |
| 72 | ツゲ  | 庭木 | 病虫害(防除) | 庭木に白い綿様のものがたくさんついて、触ると青白い虫が飛ぶ。その一部がハーブにもついた。これは何なのか。    | 1. アオバハゴロモという植木につく虫。悪さをする虫ではないが、白い綿が目立つ。<br>2. 防除は、6月上旬頃にスミチオン乳剤1000倍液を散布すると良い。                                |
| 73 | ツゲ  | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉を食害される。いつ防除すれば良いか。                                     | 4~5月に発生し、6月に成虫が発生してから年3~4回発生する。スミチオン1000倍液を散布して防除する。   |
| 74 | ツツジ | 庭木 | 剪定      | 垣根に植えている。昨年末植木屋さんに剪定してもらったら、今年花が咲かなかった。剪定に適した時期は？       | 1. 梅雨明けまでが剪定(枝)の適期。<br>2. 夏の間は、徒長枝を切る位。10~11月に軽く手直しする位とする。<br>3. 植木屋さんは型を整えるのを中心とするから、花が咲かないことがある。2年目からは咲くと思う。 |
| 75 | ツツジ | 庭木 | 育て方     | 植えて5~6年になるが、根元の土は流れ、樹勢もよくない。雑草もからまっている。植え直ししたいがいつ頃が良いか。 | 植えなおしは3月が良い。掘上げた跡に腐葉土を入れて混ぜ、植えなおす。掘り上げた株根をバラバラにして雑草を取り除くと良い。   |
| 76 | ツバキ | 庭木 | 病虫害(防除) | 昨年の夏から秋に、葉先が黒く枯れるものが多く出た。どのように対処すればよいか。                 | 斑点や葉先が枯れる(新葉)病気の場合は殺菌剤(トップジンM)を散布する。アブラムシ等がついた場合は殺虫剤で防除する。   |
| 77 | ツバキ | 庭木 | 病虫害(防除) | チャドクガの薬剤散布時期はいつか。                                       | 年2回、6月上旬頃と7月下旬頃発生するので、まず害虫を発見し、切り取って焼くのが得策である。薬剤散布は虫を見てから行えばよいが、虫が小さいうちに行うのが大事である。                             |
| 78 | ツバキ | 庭木 | 病虫害(防除) | 枝を切りたいがいつがよいか   | 6月と10月ごろがよい。   |
| 79 | ツバキ | 庭木 | 病虫害(防除) | 1. 葉を閉じる虫がいる<br>2. 剪定したいがいつが良いか。                        | 1. 葉を閉じるのはハマキムシ。少なければ手で潰す。多ければスミチオン乳剤1000倍液を散布。<br>2. 庭木の剪定は6月と10月。花の咲くものは、10月の剪定は軽く徒長枝を除くのみ。                  |
| 80 | ツバキ | 庭木 | 剪定      | 背丈を低くしたい。どのように剪定すれば良いか。切る時期は？                           | 剪定は花が咲き終わったらすぐ行う。切りつめる場合は切り戻し剪定か刈込み剪定する。花を休ませて深く切り込めばより低くできる。  |
| 81 | ツバキ | 庭木 | 診断      | 庭植のツバキ、樹高2m位。最近になって葉が枯れ、黒くなって落ちてしまった。                   | 樹の根元を調べてみる。オガクズ様のものが出ていたら、テッポウムシ(カミキリムシ)によるものと考えられる。樹の根元(地上50cm位から下)を調べ、穴が見つかったら針金でつつくと良い。                     |
| 82 | ツバキ | 庭木 | 植え方     | ツバキを移植したいが、いつ頃どのようにしたら良いか。                              | 移植は春、入梅時と秋になる。秋は10月頃、土をよくつけて移植し、支柱を立て動かないようにする。乾燥を防ぐため敷きわらをする。   |

|    |         |    |         |  |  |
|----|---------|----|---------|--|--|
| 83 | ツバキ     | 庭木 | 病虫害(防除) | 新芽の先が黒くなっている。これは病気か。                                     | 1. 症状としては風ずれ、何かが当たったと思われる。その後、病気の発生も考えられる。<br>2. 防除は風ずれの原因物(回りの木の枝など)を取り除くこと。又、新芽の時、殺菌剤を散布する。<br>3. 見た目は汚いが実害はないので、10月以後に枝先の枯れた所だけ剪枝すると良い。   |
| 84 | ツバキ     | 庭木 | 病虫害(防除) | チャドクガがたくさんついた。薬を散布した方が良いか。                               | 1. チャドクガは人にかぶれを起こすので指定衛生害虫になっている。抜け殻でも成虫の鱗粉でもかぶれる。発生初期に見つけたら、すぐに防除すること。<br>2. 年に2回発生する。(6月頃と8月頃)6月発生が多ければ、8~9月に大発生となる。<br>3. 発生の確認の仕方・・・黄色の2cm位の蛾を夕方に見かけたら、その後2~3週間で幼虫が発生する。この幼虫は高い所でなく、高さ1m~1.5m位の葉裏に産卵し、1~2令位までは1枚の葉についており、3~4令になると樹全体に拡大する。 |
| 85 | ツバキ     | 庭木 | 植え方     | 四季咲き椿の鉢植えが20~30cm位になっている。植替えした方が良いか。                     | 鉢植えは3~5年に1回植替えるのが良い。用土は持ち合わせの土・黒土・赤玉土を混ぜて用いる。盆栽は毎年12~2月頃。赤玉土が良い。   |
| 86 | つるバラ    | 庭木 | 剪定      | つるバラがいっぱいになり、古い茎は黄色になっている。剪定はどのようにしてやるのか。                | 1. 剪定の時期は12月が良い。<br>2. 古くなり主枝は褐色になると、樹勢も弱るので茎の更新が必要。それには根元から出た新しい茎(シュートという)を伸ばし、これに主茎を交代させて古い主茎は切る。<br>3. 主茎から出た花枝は適宜間引くと良い。   |
| 87 | つるバラ    | 庭木 | 剪定      | 植えて2年位。つるがどんどん伸びるのに、花が全然咲かないのはどうしてか。                     | つるバラの花はつるが伸び、そのつるより出た枝に花がつく。植えて何年も花が咲かないならば、台木が伸びたのかもかもしれない。台木でなくてもつるから出た枝を剪定してしまつたら花はつかない。  |
| 88 | ドウダンツツジ | 庭木 | 診断      | 枝が折れたので、よく見てみると、枝の元に木屑が出ていた                              | おそらくカミキリムシが中に入ったものと思われるので、薬剤を注入しておいた方がよい。  |
| 89 | ドウダンツツジ | 庭木 | 剪定      | 数年、刈り込みをしていないので小さくしたい                                    | 一度に刈り込むと枯れ枝ができるので、まず6月下旬に一度刈り込んでおき、後は葉が落ちてから一定の大きさに刈り込むようにする。  |
| 90 | ドウダンツツジ | 庭木 | 剪定      | 垣根に植えている。昨年末植木屋さんに剪定してもらったら、今年花が咲かなかった。剪定は今頃が良いと聞いたがどうか。 | 1. 梅雨明けまでが剪定(枝)の適期。<br>2. 夏の間は、徒長枝を切る位。10~11月に軽く手直しする位とする。<br>3. 植え木屋さんは型を整えるのを中心とするから、花が咲かないことがある。3年目からは咲くと思う。  |
| 91 | ドウダンツツジ | 庭木 | 病虫害(防除) | 1. 葉を閉じる虫がいる<br>2. 剪定したいがいつが良いか。                         | 1. 葉を閉じるのはハマキムシ。少なければ手で潰す。多ければスミチオン乳剤1000倍液を散布。<br>2. 庭木の剪定は6月と10月。花の咲くものは、10月の剪定は軽く徒長枝を除くのみ。  |



|     |         |    |         |   |   |
|-----|---------|----|---------|---|---|
| 92  | デュランタ   | 庭木 | 育て方     | デュランタをもらい、外に置いたが、芽が出てこない。                     | デュランタはやや寒さに弱く、東京では無加温の温室で越冬可能だといわれている。従って寒さが厳しい場合、芽を吹いてこなければ枯れていると考えたほうが良い。強い霜や雪にあて凍らないように管理する。(5度以上で管理したい)   |
| 93  | トキワマンサク | 庭木 | 植え方     | 挿木した。新芽が5~6cm伸びている。今後どのようにしたら良いか。             | マンサクは発根後の芽の伸びが良くないので、来年6月頃新芽の伸びを確認して移植すると良い。  |
| 94  | ナツツバキ   | 庭木 | 剪定      | ナツツバキの鉢植え2年目。今年は開花したが、その後枝がどんどん伸びている。切っても良いか。 | 1. 枝が伸びる時期はまだ枝先が軟らかいので少し硬化するのを待って剪定する。剪定の程度は、込み過ぎていたら枝元から間引くように、又伸びすぎるとなら1/3か2/3剪定する。全体のバランスを考えて。<br>2. 剪定の時期は梅雨末期まで。残された短い枝に夏の間花芽ができる。<br>3. 秋剪定は10~11月、全体のバランスを整える。   |
| 95  | ナツツバキ   | 庭木 | 育て方     | どのくらいの大きさになるか。育て方はどのようにするか。                   | そのままだと10mくらいになってしまうので、毎年整枝か剪定して木の大きさを調整する。  |
| 96  | ナツツバキ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 次々に庭木が枯れる。根に白い綿様のものがいっぱい付いていた。病気か。            | 1. 白絹病と思われる。(紋羽病も似る) 土壌病害で菌は長い間土中にあり庭木を枯らす。菌は10年位土中に残る。<br>2. <防除方法>①ベンレート水和剤1000倍液を1本当り5リットル位灌注する。②良質の腐葉土を投入し、良質な土壌微生物を増す。③枯れた木の根をできるだけ掘り取り焼却する。④4月頃にもう1度ベンレート水和剤を灌注する。<br>3. 土壌病害専用薬のバスアミド微粒剤(劇薬)が入手できたら、5月以降に使用。 |
| 97  | ナツツバキ   | 庭木 | 植え方     | 植え方を知りたい。                                     | 根巻苗、ビニール材で巻いてある場合は、半分位埋めて材料をはずし、根がいたまないように植える。植え方は、溝を掘り、堆肥を下に入れ土と混合し、その上に土を入れて植え込む。水を充分与えて少しゆする。支柱を立て、敷きわらを敷き詰め、乾燥したら水を与える。   |
| 98  | ナツツバキ   | 庭木 | 植え方     | ポットのまま置いて良いか。又はすぐ植え替えても大丈夫か。                  | ポットから抜いてすぐ植えて良い。すぐ植えられない場合も3月頃まではそのままでも良い。管理は表面の土が乾いてきたら水遣りする。土中に鉢を埋めておくのは良い。   |
| 99  | 庭木      | 庭木 | 診断      | 庭木で日陰に強いものは何か。                                | 1. 関東地域で夏に太陽光の届かぬところはない。従って一日に何時間陽が当たるかであって、大部分は植えられる。  |
| 100 | 庭木      | 庭木 | 病虫害(防除) | 庭木に白く綿様のものがついており、(隣近所も同じ)それが網戸について困っている。      | 1. アオバハゴロモと言う虫が植木の枝に産卵。幼虫が自分の体を保護するために出したワタが白く見えるもの。<br>2. 防除はスミチオン乳剤(1000倍)を散布すると良い。   |
| 101 | ハクモクレン  | 庭木 | 植え方     | 挿し木ができるか。                                     | さし木は2~3月頃と6月(緑枝挿し)にできる。   |

|     |          |    |         |  |  |
|-----|----------|----|---------|--|--|
| 102 | ハゴロモジャスミ | 庭木 | 育て方     | あまり伸びが良くないが、どのように管理したらよいか。             | 1. もともとが自然のものであり、特に細やかに手入れする必要はない。腐葉土をいれ、土をやわらかくして排水を良くしてやること。<br>2. 肥料のやりすぎに注意。   |
| 103 | ハナズオウ    | 庭木 | 病虫害(防除) | 1. 葉を閉じる虫がいる<br>2. 剪定したいがいつが良いか。       | 1. 葉を閉じるのはハマキムシ。少なければ手で潰す。多ければスミチオン乳剤1000倍液を散布。<br>2. 庭木の剪定は6月と10月。花の咲くものは、10月の剪定は軽く徒長枝を除くのみ。  |
| 104 | ハナミズキ    | 庭木 | 育て方     | 記念樹の植え付けと管理方法                          | 植え穴を鉢の3倍以上の大きさに掘り、下に堆肥と化成肥料と油粕を混ぜて下にいれて、その上に真土を6cmくらいいれてから、苗を植える。盛り土は少し高めにしておく。支柱をたてておく。   |
| 105 | ハナミズキ    | 庭木 | 植え方     | どのように植えて育てればよいか。                       | 植溝に堆肥を入れ、動かないよう支柱を立てる、うどんこ病がでるので、スプレー式の殺菌剤を散布する。   |
| 106 | ハナミズキ    | 庭木 | 病虫害(防除) | ハナミズキの葉が白くなった。どうしたら良いか                 | うどんこ病と思われる。早速薬剤散布を2回程行なって様子を見つめる。(ダイセン系統の薬剤)後は水やりと肥料に注意すること。   |
| 107 | ハナミズキ    | 庭木 | 剪定      | 花が咲かない。どの位の大きさになったら咲くのか。               | 鉢植えなら50~60cm、地植えの場合は1.5~2m位で咲き出す。剪定(冬)をする時には先端を切つてはいけない。肥料はリン酸のみの単肥を使用する。  |
| 108 | ハナミズキ    | 庭木 | 剪定      | 花が咲かない。                                | 剪定はあまりしない。込んでいる所を抜く程度とし、伸び過ぎるなら、切戻しする。肥料はリン酸の多いものを与える。   |
| 109 | ハナミズキ    | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉に白いカビが沢山ついてしまったが、その防除法はどうしたら良いか。      | うどんこ病が発生したもので薬剤散布を2回以上やった方が良い。(ベンレート他)   |
| 110 | ハナミズキ    | 庭木 | 病虫害(防除) | 4月に地植えに移したところが葉が枯れてきてしまった。対策はどうしたら良いか。 | うどんこ病が発生しているようなので、殺菌剤の入ったスプレー式の薬剤を散布し、さらに液肥(ハイポネックス)を与える。  |
| 111 | ハナミズキ    | 庭木 | 植え方     | ビニールポット植えだが、すぐ地植えして良いか。植える適期はいつか。      | ポットが小さいのですぐ植え替えた方が良い。ハナミズキの植える時期は葉の落ちている12月~3月上旬頃までに植える。適期に地植えする場合は少し大きめの鉢に植鉢を崩さず植え替えておいて、葉が落ちてから地植えすると良い。                             |
| 112 | ハナミズキ    | 庭木 | 植え方     | 鉢に植えたいが、どのように植えたら良いか。                  | 1. 鉢は8~10号位の深鉢。<br>2. 用土は園芸店で買うか、赤玉土中粒に腐葉土を10~20%位混ぜる。ポットから抜き、そのまま鉢の中へ。<br>3. 灌水は鉢土表面が乾いたらたっぷりと。冬でも月1回位は必要。<br>4. 3~5年に一度植替えを。肥料は必要ない。 |
| 113 | ハナミズキ    | 庭木 | 診断      | 庭木のハナミズキが枯れた。どうしてか。                    | 樹齢10年以上にもなるハナミズキが枯れるのは①根の病気②夏期の乾燥③排水不良が考えられる。枯れた木の根を掘りあげて見るとわかる。葉が虫に食われたくらいでは枯れない。   |

|     |       |    |         |  |   |
|-----|-------|----|---------|--|---|
| 114 | ハナミズキ | 庭木 | その他     | 2本植えて3年位になる。白は咲くが、赤は2～3輪しか咲かない。咲いていた苗を植えたのだが。                        | 1. 販売しているものは、開花促進の管理をしている。灌水を調節すると効果がある。<br>2. 市販の苗には、早くても5～6年の経過が必要。根付けして2～3年は生育するために根の伸長が主体となり、幹も伸長する。花をより体を作るための時期なので、生育が落ち着けば咲くようになる。<br>3. 庭植えで4～5年経っても開花が少なければ、6～7月頃、根切りをやれば開花の促進になる。 |
| 115 | ハナミズキ | 庭木 | 育て方     | 早く花を見たいが、地植えと鉢植えどちらが良いか。   | 地植えの場合、4～5年は花は咲かず、根張りが安定してから咲く。鉢植えなら管理の仕方ですら2～3年で咲く。  |
| 116 | ハナミズキ | 庭木 | 剪定      | どの位まで大きくなるのか。あまり大きくはしたくない。   | 自然に放置すると大きくなってしまふ。毎年少しずつ剪定すれば、コンパクトに仕立てることができる。   |
| 117 | ハナミズキ | 庭木 | 診断      | 他の庭木と一緒に植えていたものが次々に枯れた。病気か、土が悪いのか。                                   | 1. 次々に枯れるのは根の病気。白絹病・紋羽病のどれかと思われる。20～30cmの深さの根を掘って調べてみる。<br>2. 決定的な防除は難しい。やり方は、①枯れた根をできる限り掘上げ焼却する。②その跡にベンレート水和剤1000倍液(又は、バスアミド微粒剤(劇薬))を灌注する。<br>③跡地は2～3年休んで、良質の腐葉土を投入し、良性の土壌微生物を増殖させる。       |
| 118 | ハナミズキ | 庭木 | 育て方     | 植え方と管理の方法は。  | 直径30cm以上の穴を掘り、下1/3位の所に堆肥+油粕又は化成肥料を混ぜて土で覆い、その上にポリ鉢の苗を入れて土をかけ植え付けておく。土は少し高めにしておく。   |
| 119 | バラ    | 庭木 | 剪定      | モッコウバラの花が咲かない  | 1. 肥料を充分施す。2. 古い枝を更新するように剪定する。3. 消毒をして虫や病気を防除する。  |
| 120 | バラ    | 庭木 | 病虫害(防除) | つるバラを3年前に植え、相当大きくなってはいるが、根部に「こぶ」ができ、咲く花の数も少なくなって生長が悪くなってきたが、どうしたものか。 | 状況から、「根頭がんしゅ病」に犯されていたものと思われる。この病気は他の木にもうつる可能性があるため、木全体を掘り取る方法しかない。跡地には、当分の間樹木を植えないようにする。  |
| 121 | バラ    | 庭木 | 病虫害(防除) | バラが白くなってきてしまった。  | 葉や心芽がうどん粉のようなカビが生えてきてしまったもので、空中湿度が多い時や、枝葉が繁りすぎると多発する。ひどいところは葉を落として処分し、ベニカX等のスプレー剤の殺虫剤を散布する。   |
| 122 | バラ    | 庭木 | 育て方     | つるバラを庭に植えたが、花後の管理の仕方について知りたい。又、四季咲きのバラについても知りたい。                     | 枝が伸びて花が咲き終わったら、花の下2～3節で剪定し、新しい枝を出させる。四季咲きのバラは、整枝と剪定を行う。又病虫害防除は殺虫と殺菌剤は分けてやったほうが効果的である。殺菌剤は予防であり、ある程度定期的に散布する。  |

|     |    |    |         |  |   |
|-----|----|----|---------|--|---|
| 123 | バラ | 庭木 | 増やし方    | バラの挿し木をしたい。ポイントを知りたい。  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 用土 赤玉の中 又は小粒</li> <li>2. 時期 6月～10月</li> <li>3. 挿し穂の作り方 今年伸びて硬化した枝(10～15cm位で葉2枚)</li> <li>4. 挿し方 発根剤を使用。(しなくても発根は良い)深さ5cm位が目安</li> <li>5. 置き場所 半日陰</li> <li>6. 灌水 挿し木後7～10日間は1日1～2回。その後夕方にピンとして水揚げが良い状態になったら、段々水やりを少なくして日当りに出す。</li> <li>7. 発根 40～50日位で移植可能となる。</li> </ol> |
| 124 | バラ | 庭木 | 病虫害(防除) | アオムシがよく発生するが、防除方は。   | オルトランかマラソンを使って駆除する。   |
| 125 | バラ | 庭木 | 病虫害(防除) | 病虫害の防除について   | 殺菌剤と殺虫剤を混合して展着剤を添加して散布する。(サブロール+スミチオン)  |
| 126 | バラ | 庭木 | 育て方     | シュートが出て長く伸び過ぎているが切ってもよいか。  | シュートは更新用に育てる事が多いので、そのまま8月下旬長ければ1/3位を切捨て、枝の整理を行うと良い。   |
| 127 | バラ | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉が黄色くなって落ちるが、どうしてか。剪定について  | 黒星病と思われる。病葉を切り取り焼却する。敷わらをして土はねを防ぐ。薬剤散布は冬(石灰硫黄合剤など)と春～秋(トップジンM・マンネブダイセンなど)に散布して防除する。夏期に剪定をする。(1/3位を切りつめて良い枝を出す)  |
| 128 | バラ | 庭木 | 育て方     | 鉢植えが何種類かあるが、どうしたら良いか。  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 四季咲きのバラは、春と秋の花をよく咲かせるために、7・8月頃整枝と病害防除を適期に行なう。</li> <li>2. 1季咲きは冬期に整枝剪定と施肥を行なう。</li> <li>3. つるバラは冬期に充実した枝を残し、他は剪定と元肥を施しておく。</li> </ol> 以上3種は元肥は冬に施す。   |
| 129 | バラ | 庭木 | 診断      | ミニバラを地植えにしてある。葉に綿のようなものがつき、潰すと中に小さい虫の卵のみたいなものがあるが、何か。また、葉の縁が茶色に枯れるのはどうしてか。 | ワタカイガラムシの類と思われる。葉が枯れるのはうどんこ病か灰色かび病におかされているのではないかと。対策としては、病虫害の防除薬を同時に定期的に散布してみてもどうか。   |
| 130 | バラ | 庭木 | 病虫害(防除) | 虫がつき、葉がなくなりました。うどんこ病などに効果のある薬(殺菌剤)を散布している。                                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バラにはチュウレンジハバチ等色々なアオムシがついて、葉を食べてしまう。こうした害虫には殺菌剤ではなく、殺虫剤(スミチオン乳剤・オルトラン水和剤など)を散布すること。</li> <li>2. 粒剤によるやり方もあるが、これは草花の小さい時期のアブラムシ防除位しかできない。</li> </ol>  |
| 131 | バラ | 庭木 | 剪定      | 剪定と施肥の方法   | 剪定は12月～1月に。元肥は寒肥として2月に施すこと。   |

|     |    |    |         |  |  |
|-----|----|----|---------|--|--|
| 132 | バラ | 庭木 | 剪定      | つるバラと普通の四季咲きバラを育てているが、剪定と病虫害防除法について知りたい。                               | つるバラ: 落葉期に石灰硫黄合剤散布、剪定は2月末までに。主幹と垂主枝を剪定し、残した枝を横に誘引しておく。<br>四季咲きのバラ: 落葉樹はつるバラ同様に消毒し、さらに化成と油粕を土面に散布し、かき混ぜておく。剪定は、冬と夏に2回くらい行う。消毒は殺虫剤はその都度散布し、病気は定期的に数回散布する(ベンレート及びダイセン等)。                  |
| 133 | バラ | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉が病気になり全部落ちてしまった。  | 1. 黒星病かうどんこ病。全部落葉しても2~3週間で新芽が出てくる。従って細い枝先を切詰めておくと良い。<br>2. 肥料は葉が出てからやる。  |
| 134 | バラ | 庭木 | 診断      | つるバラが伸びてからまっているので、外したら途中で折れてしまった。一部は繋がっているが、葉は萎れて枯れた。何とか助からないか。        | 1. 茎の折れた程度にもよるが、上手に元に戻し、ガムテープ様のもの巻いておくとつく事がある。<br>2. つるバラはこれからどんどんシュートが出たり、枝が伸びる時期であり、剪定の時期今出ていなくても新しい茎が伸びてくるので、それを伸ばすのが良い。  |
| 135 | バラ | 庭木 | 育て方     | 鉢植えのバラ1~2輪咲くのみ。大きくならないように50cm位で切っている。肥料は鶏ふん・菜種粕。又挿木したものが2本。いつ移植したら良いか。 | 1. 剪定は開花後に花下の枝を見て五枚葉の上で切る。そうすれば脇芽が伸びて次の花が咲く。<br>2. 単に伸びるから切るでは花は咲かない。鉢の大きさにもよるが、7~8号鉢でも70~80cm位は伸ばし、2~3月頃新芽を見て剪定するのが良い。<br>3. 肥料は有機固形肥料が良い。春・夏・秋の3回が良い。<br>4. 挿木したものは挿し木後2~3ヶ月で移植して良い。 |
| 136 | バラ | 庭木 | 増やし方    | ミニバラの挿し木はいつごろがよいか。   | 一般的に春の芽がでる前に挿す。それ以外では、6~7月。  |
| 137 | バラ | 庭木 | 病虫害(防除) | 病虫害、特にダニが多い。薬は何が良いか。   | ダニは夏の乾燥期に多発する。風通しを良くし、葉の裏に水を吹き飛ばすようにかける。薬は殺ダニ剤を種類を替えながら散布。2月に有機肥料・油粕・牛糞なども埋め込む。  |
| 138 | バラ | 庭木 | 育て方     | 接木したばかりの苗をもらった。どのように管理すれば良いか。  | 接木した部分まで土をかぶせて植え、乾かないようにする。また、ビニール袋をかぶせて、接木穂の乾燥を防ぐと良い。鉢の場合は、水を切らさず暖かい所で管理する。   |
| 139 | バラ | 庭木 | 病虫害(防除) | 生育が悪い  | 剪定をして枝の更新をはかる。肥料を施して活力を与える。病虫害の防除をして生育をよくする。冬期、追肥類を施し土づくりをする。  |

|     |         |    |         |  |  |
|-----|---------|----|---------|--|--|
| 140 | バラ      | 庭木 | 植え方     | 鉢植えを地植えにしたい。いつ頃どのようにしたら良いか。肥料は。                    | 時期は11～3月頃。植え方は深さ30cm位の穴を掘り、堆肥又は腐葉土を入れ緩効性肥料大粒1～2個位を入れ、土とよく混ぜて植え付ける。   |
| 141 | ヒイラギ    | 庭木 | 病虫害(防除) | 公園内のレンゲツツジに接した所にあるヒイラギの垣根に、病虫害が発生して困って苦情がある。その対策は。 | ヒイラギに病虫害は少ないものだが、うどんこ病と特殊な害虫と思われる。従って、レンゲツツジの病虫害防除をしてから様子を見てはどうか。(冬に1回位石灰硫黄合剤・夏には主として害虫駆除剤:オルトランかスミチオン乳剤)  |
| 142 | ヒガンザクラ  | 庭木 | 病虫害(防除) | 庭にあるヒガンザクラにケムシが大発生、これまでにないことで、どんな防除をしたら良いか。展着剤は?   | 1. おそらくアメリカシロヒトリ(第2世代)。<br>2. 防除はスミチオン乳剤1000倍液を丁寧に散布する。薬液がかかれば、バタバタ落ちる。展着剤があれば使用したほうがよいがなくても大丈夫。<br>3. なるべく雨が降ってない時に散布した方がよい。  |
| 143 | ヒノキ     | 庭木 | 剪定      | 垣根のヒノキが伸び過ぎたので、切りつめたいがいつ頃が良いか。                     | 大きく切りつめるには春が良い。普通の刈込みは古葉が落ちる11月頃に整枝するとよい。  |
| 144 | ヒバ      | 庭木 | 病虫害(防除) | 生垣になっているが、4本だけ赤くなってきた。                             | 4本だけ先に赤くなるのは生育状態が悪いものと思われる。少し肥料を施し様子を見る。   |
| 145 | ヒバ      | 庭木 | その他     | ヒバを移植したが、葉が枯れてきた。                                  | ヒバは葉に青い所がなければ枯れてしまっている。修復の可能性はない。  |
| 146 | ヒメシャラ   | 庭木 | 育て方     | 根巻きのまま、鉢に植えても大丈夫か。                                 | そのままでも良いが、できればひもの部分は切り取った方が新根が伸び易くなる。  |
| 147 | ヒメシャラ   | 庭木 | 植え方     | 移転せざるを得なくなった。いろいろ樹木が植えられているが、移植はできるか。(移植予定時期は10月頃) | 《樹木の移植準備》<br>1. 根切り 樹の太さの3倍(両側で6倍)位離れた所の根を40～50cmの深さまで切る。(時期は6～7月)<br>2. 枝切り 梅雨時に移転時を見こして樹高・横枝を剪定しておく。<br>以上の準備をしておく、業者に頼んだ場合も喜ばれる。  |
| 148 | ヒメシャラ   | 庭木 | 病虫害(防除) | 次々に庭木が枯れる。根に白い綿様のものがいっぱい付いていた。病気か。                 | 1. 白絹病と思われる。(紋羽病も似る) 土壌病害で菌は長い間土中にあり庭木を枯らす。菌は10年位土中に残る。<br>2. 《防除方法》①ベンレート水和剤1000倍液を1本当り5ℓ位灌注する。②良質の腐葉土を投入し、良質な土壌微生物を増す。③枯れた木の根をできるだけ掘り取り焼却する。④4月頃にもう1度ベンレート水和剤を灌注する。<br>3. 土壌病害専用薬のバスアミド微粒剤(劇薬)が入手できたら、5月以降に使用。 |
| 149 | ヒョウタンボク | 庭木 | 診断      | 食べられるか。  | 猛毒で食用にはできない。   |
| 150 | ブーゲンビリア | 庭木 | 植え方     | 鉢植えでよく花が咲いていたがだんだん花が少なくなってきた。5年くらいになる。             | 1. 鉢植えでは4～5年に1回植替えが必要。根詰まりによって樹勢が弱ってきていると思われる。<br>2. 植替えの時期は10月頃と3月頃が良い。   |

|     |         |    |         |                                    |   |
|-----|---------|----|---------|------------------------------------|---|
| 151 | フジ      | 庭木 | 剪定      | 花が咲かない                             | ①剪定は12～3月の間に行う。短枝をつくる。<br>②夏期は徒長枝や混みあう枝をとる。<br>③肥料はリン酸が多いものを与える。  |
| 152 | フジ      | 庭木 | 育て方     | 苗を買って鉢に植えたいが、どのようにすればよいか。          | 植える時期は3月末くらい、ポリポットに入っていれば、根を切らずに植えつける。土は赤玉土：腐葉土＝7：3の混合土を使う。特に夏季の水切れと剪定を注意する（花付きをよくするため）   |
| 153 | フジ      | 庭木 | 育て方     | 花が咲かない。                            | 鉢から地植えにすると、つるばかり伸びて花が咲かない。原因は剪定と肥料。つるは伸びる度に切ってはいけない。葉がこみあう場合は春に葉かきをする。8～9月に枝先を摘芯する。伸びるだけ伸ばして冬に切る。肥料はリン酸カリ肥料のみ与える。   |
| 154 | フジ      | 庭木 | 診断      | 何十年も経つが、花が咲かない。どうしたら咲くか。           | 徒長枝でなく1m位で、夏の間よく日に当たったつるに花芽はつく。大きい絡まっている枝を整理して、日当たりを良くする。夏の剪定は伸びたツルが硬化する頃、元から3芽で切り、再び伸びたら又3芽で切る。落葉期に芽の肥大を確認して3芽残して切る。肥料はやらない。夏場に根切りするのも花芽に良い。   |
| 155 | ブッドレア   | 庭木 | 剪定      | 大きくしたい。いつ頃切ったらよいか。                 | 大きくしたいなら剪定はしない。花がらを摘むのみ。剪定は3月頃、混んでいる所を間引く。  |
| 156 | ベニカナメモチ | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉に斑点ができて、落葉してしまう。                  | ごま色斑点病。肥料を施し、樹勢を強める。薬剤散布はトップジンM水和剤を使用する。  |
| 157 | ベニカナメモチ | 庭木 | 診断      | 他の庭木と一緒に植えていたものが次々に枯れた。病気か、土が悪いのか。 | 1. 次々に枯れるのは根の病気。白絹病・紋羽病のどれかと思われる。20～30cmの深さの根を掘って調べてみる。<br>2. 決定的な防除は難しい。やり方は、①枯れた根をできる限り掘上げ焼却する。②その跡にベンレート水和剤1000倍液（又は、バスアミド微粒剤（劇薬））を灌注する。<br>③跡地は2～3年休んで、良質の腐葉土を投入し、良性の土壌微生物を増殖させる。 |
| 158 | ポタン     | 庭木 | 育て方     | 鉢植えにしてベランダで楽しみたいが、できるか。            | 1. 大鉢（直径40～50cm×深さ30～40cm）であればできる。<br>2. 3～4年経ったら植え替えが必要になるかもしれない。<br>3. 肥料は3月頃1回（バラの肥料がよい）にしたい。  |
| 159 | ポタン     | 庭木 | 植え方     | 鉢植えを地植えにしたいが、植え方と時期を知りたい。          | 1. 植付けの注意点は水はけをよくすること。赤玉土（中）を積んで盛り土として、小山のように高く植えること。<br>2. 時期は10～11月。冬寒ければ3月が良い。   |
| 160 | ポローニア   | 庭木 | 育て方     | 外でも大丈夫か。毎年咲くか。                     | 半耐寒性なので、冬の多少の防寒対策が必要。   |
| 161 | ホンサカキ   | 庭木 | 増やし方    | 挿木をしたいが、どうか。                       | 普通は6月に行う。地温が20℃以上ないと無理。   |

|     |         |    |         |  |   |
|-----|---------|----|---------|--|---|
| 162 | マツ      | 庭木 | 病虫害(防除) | 松の芽に泡のようなものがついている                                | マツアワフキ。成虫は7~8月に現れ、幼虫同様吸汁する。防除はスミチオン、カルホス乳剤(劇薬)の1000~1500倍散布   |
| 163 | マツ      | 庭木 | 診断      | 15年位になる。樹皮に青くなった所があり、心配になった。                     | 1. コケの一種か。老松には風情があって良い。<br>2. 枯れる心配はない。   |
| 164 | マンリョウ   | 庭木 | 植え方     | 庭に植えた50cm位の木を7月上旬に玄関先に移植したが枯れてしまった。どうしてか。        | 1. マンリョウは大きくなると移植は難しい。移植できるのは1~2年位まで。直根で細根が少ないため、移植を嫌う。<br>2. 鉢植えで育てて根鉢を崩さないようにして移植するのも一つの方法である。                        |
| 165 | マンリョウ   | 庭木 | 植え方     | プランターに播き、良く発芽した。今後どのようにしたら良いか。                   | マンリョウは1~2年生なら移植も可能だが、本来移植が難しい植物(できればポット播きが良い)である。3月頃の移植を勧める。  |
| 166 | マンリョウ   | 庭木 | 増やし方    | 種子によって増やしたい。どうしたら良いか。                            | 11月以降に実が成熟する。種子を取り果肉をよく洗って鉢やトロ箱に蒔き、乾かないようにすると発芽する。花が咲くには3年以上かかる。  |
| 167 | ミツマタ    | 庭木 | 増やし方    | 挿木の時期はいつ頃が良いか。                                   | 3月と6~7月に行う。   |
| 168 | ムクゲ     | 庭木 | 育て方     | どのように育てたら良いか。                                    | ポットに入っているのであれば根を崩さずに植穴に入れて育てれば良い。下に腐葉土と化成を混ぜて植えると、早く大きくなる。落葉後(冬期)に剪定すれば、木は大きくならず、毎年咲かせる事ができる。                           |
| 169 | ムクゲ     | 庭木 | 育て方     | どの位大きくなるのか。                                      | 自然に育てれば、3m位の高さになるが、剪定は自由なので、好きなように剪定すればよい。花はその年に新しく伸びた枝先につく。  |
| 170 | ムクゲ     | 庭木 | 育て方     | どのようにして植えたら良いか。又、このまま鉢植えでもよいのか。                  | ムクゲは庭植えの方が良い。鉢植えは1~2年に1回は植替えが必要。庭植えならほとんど手間はかからない。剪定は落葉してから、どのように剪定しても良い。新しい枝が伸びてその先に花が咲く。                              |
| 171 | ムラサキシキブ | 庭木 | 剪定      | 7号鉢に植えたもので、3年位になる。だいぶ伸びてきたので切りたいが、どのように剪定したら良いか。 | 1. 剪定は落葉しているときが良い。<br>2. 剪定の仕方は、1本立ちより3~4本立ちの方が良い。<br>3. 開花する時期は切らない方が良い。<br>4. 3~4年に1回は植え替えた方が良い。<br>5. 肥料はやらないか少量が良い。 |



|     |      |    |         |   |   |
|-----|------|----|---------|---|---|
| 172 | モクレン | 庭木 | 剪定      | 小さくしたくて切ってしまったが、大丈夫か。                   | 剪定は冬が主体で切り戻し剪定をする。切ってしまった所には癒合剤を塗っておく。夏は徒長枝を切る程度で良い。  |
| 173 | モチノキ | 庭木 | 病害虫(防除) | ルビーロウカイガラムシにすす病が発生。どうしたら良いか。            | 1. ルビーロウカイガラムシが発生し、この虫の分泌物にすす病が併発したもの。<br>2. すず病は殺菌剤で簡単に防除できる。問題はカイガラムシで年1回発生し、幼虫1匹の時は足があり歩行。その後定着し肥大し樹液を吸収する。<br>3. 幼虫がふ化した時はスミチオン乳剤で効果があるが、2~3令以降は適切な薬がない。但しスプラサイド乳剤(劇薬)は効果があり夏期の防除に使われている。<br>4. スプラサイド乳剤(劇薬)1500倍液にベンレート水和剤2000倍かダコニール1000の1000倍を加え散布すると良い。 |
| 174 | モチノキ | 庭木 | 病害虫(防除) | 木全体が黒くなったが、原因は？                         | カイガラムシの駆除を長年やっていなかった為、すす病になったと思われる。この場合、防除は不可能な状態の為、伐採して新しい苗を植え付けた方が良い。   |
| 175 | モチノキ | 庭木 | 診断      | 白い粉をつけたような葉が多くなってきた。                    | うどんこ病が発生したと思われる。薬剤散布が必要。  |
| 176 | モッコク | 庭木 | 病害虫(防除) | ハマキムシのよい防除法はないか。                        | 発生初期に薬剤散布して防ぐより方法はない。   |
| 177 | モッコク | 庭木 | 病害虫(防除) | 1. 葉をとじる虫がいる。<br>2. 剪定したいがいつが良いか。       | 1. 葉を綴じるのはハマキムシ。少なければ手で潰す。多ければスミチオン乳剤1000倍液を散布。<br>2. 庭木の剪定は6月と10月。花の咲くものは、10月の剪定は軽く徒長枝を除くのみ。   |
| 178 | モッコク | 庭木 | 病害虫(防除) | 葉が綴じられているが、何か。                          | 1. ハマキムシ(モッコクハマキ)の幼虫が葉を綴じ合わせている。中に幼虫がいて葉肉を食べて成長し成虫となる。<br>2. 防除は綴じた葉の上から手で潰す。葉を開くと虫が落下して捕まえない。薬の散布はカルホス(劇薬)・DDVP(劇薬)・スミチオンなどを1週間置きに3回防除すれば防げる。  |
| 179 | モッコク | 庭木 | 病害虫(防除) | ハマキムシに困っている。                            | 1. ハマキムシの防除のポイントは成虫の発生を確認することが基本となる。幼虫で越冬し、4~5月上旬に第1回成虫発生、産卵ふ化まで2週間位。従って5月下旬~6月上旬が第1回防除適期である。<br>2. 薬剤は常用が望ましい。要は綴じた幼虫に薬が届くように十分丁寧に散布すること。  |
| 180 | モミジ  | 庭木 | 剪定      | 大分大きくなってしまったので、小さくしたいがいつ切ったらよいか。        | 1回目は枝先が、葉が濃くなってきたら先を半分位切っておき、後は冬の早い時期12月中に刈り込むようにする。遅れると枝が枯れてしまう。   |
| 181 | モミジ  | 庭木 | 増やし方    | 30年位の木であるが、最近枯れ枝が多く、カミキリムシも多い。どうしたらよいか。 | 枯枝の原因は主にカミキリムシによるもの。根の枯れは紋羽病の場合もある。増やすには種子か接木が多いが、挿木も管理が良ければできる。  |

|     |        |    |         |                                       |  |
|-----|--------|----|---------|---------------------------------------|--|
| 182 | ヤマアジサイ | 庭木 | 診断      | 鉢植えのヤマアジサイが、未だに新芽をつけないのはどうしてか。        | 4月中旬頃になると、新芽は伸びているので、まだ芽が出ていないとすれば、おそらく水分不足か、寒さでやられたと思われる。                       |
| 183 | ヤマボウシ  | 庭木 | 剪定      | 剪定方法は？                                | ヤマボウシの花芽は充実した枝の先につく。2月頃花芽のない枝をつけ根で切り戻し、混んだ部分の枝抜きをする。                             |
| 184 | ライラック  | 庭木 | 剪定      | 剪定方法は？                                | 普通は2～3本植えに(別植)して、剪定は自然な感じで仕立てる。冬の間花芽を確認、不要枝を整理し、花後に強い剪定をする。                      |
| 185 | ランタナ   | 庭木 | 増やし方    | 挿木はいつ頃が良いか。                           | 枝が伸びている時期で、6～7月がよくつきます。  |
| 186 | ランタナ   | 庭木 | 育て方     | 植えたばかりで10cm位。冬は室内に入れなければダメか。          | 鉢植えにして5～6年経ち、茎の太さが直径2～3cmになれば、冬でも日当たりの良い南側に置いて冬越しできる。10cm位ではまだ無理なので室内に取り込んだ方がよい。 |
| 187 | レッドロビン | 庭木 | 病虫害(防除) | 生垣に虫がついたが、どうしたら良いか。                   | イラガが相当数発生しているとのことなので、殺虫剤(マラソン・スミチオン)を散布すれば駆除できる。                                 |
| 188 | レッドロビン | 庭木 | その他(樹種) | レッドロビンの垣根、ひどい病気で枯れそう。他に植え替えられるものはないか。 | レッドロビンは褐斑病やごま色斑点病に弱い。日本産のベニカナメモチの方が病気には強い。                                       |
| 189 | レッドロビン | 庭木 | 病虫害(防除) | 葉に斑点が出来、落葉して枯れる。防除法を知りたい。             | ごま色斑点病。病斑葉を摘除焼却する。肥料を施し、生育状態を良くする。新葉展開後、トップジンM、ベンレートなど殺菌剤を散布して防除する。              |
| 190 | ロウバイ   | 庭木 | 剪定      | 剪定はいつ頃が良いか。挿木で繁殖するか。                  | 剪定はあまりしない。花が咲くまでは、不用枝や徒長枝を切り戻す。花の咲くものは花後、葉芽を残して切る。挿木はつかないので実生して接木をすると親と同じ花が咲く。   |